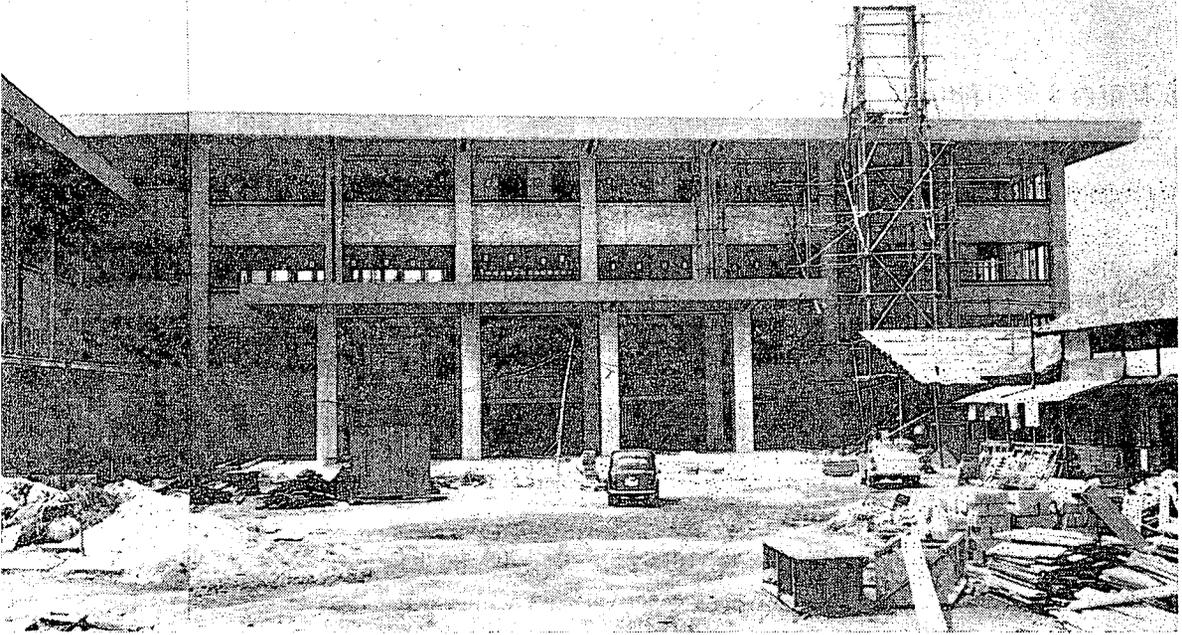


竣工に近づいた新館



昭和37年度事業報告

1962.4.1 ~ 1963.3.31

1 新館建築状況

府民待望の新館工事は本年中順調に進行し、昭和37年11月10日定礎式を挙行した。年度末に於ては四階の内部工事を除き殆んど完成に近づいた。(工事の約90%)

なほ2月府会に於て新築経費約4億のうち38年度分7千8百万円が議決された。(35.36.37年度で3億1千万円は議決済み)

2 資料および職員の充実

新館開設にあたり図書館資料の購入並に整理を予め行はねばならぬ。本年度に於てはとりあえず新館用図書購入費860万円を計上して図書の購入と整理を開始した。

又新館開設準備作業の進行にともない職員の充実の必要を認め16名の増員を行つた。

3 館内利用者 (本館および市内3分館)

本館および市内3分館における、本年度内利用者総数は、330,089人(1日平均1,208人)である。これを戦前最高の昭和10年の利用者総数129,782人(1日平均399人)と比較すると、その約3倍に当るわけである。

戦前戦後における図書館の館内利用者の動きは右のとおりである。

	戦前	戦後
利用者数	4,288,759 明治31—昭和20 48年間	4,683,150 昭和21—昭和37 17年間
女子利用者数	224,707 明治39—昭和20 40年間	1,274,465 昭和21—昭和37 17年間

京 都 府 立 図 書 館

京都市左京区岡崎成勝寺町9 電・京都⑦0069・2450

4 京都市内4館の利用者の内訳

	本館	伏見分館	中京分館	上京分館	合計
利用者数(人)	225,514	44,920	27,878	30,509	328,821
利用冊数(冊)	194,287	44,851	50,509	35,992	325,639
開館日数(日)	273	276	282	263	—
1日平均利用者数(人)	826	162	99	121	1,208
男(%)	74	64	81	64	72
女(%)	26	36	19	36	28
一般(%)	14	7	75	4	17
学生(%)	86	93	25	96	83

学生の類別は、岡崎本館における調査では

大学生	25%	高校生	31%	中学生	15%
小学生	5%	各種学校	24%		

となっている。

5 開架図書の利用状況

岡崎本館では、大閲覧室および学生室の一部に開架書架を設けて、新刊書・基本図書・雑誌をおき、児童室に完全開架制を行っている。開架図書の利用は非常に多く、本館における利用冊数の約8割を占めている。

大閲覧室	約10,000冊	学生室	約3,000冊	児童室	約3,000冊
------	----------	-----	---------	-----	---------

6 利用図書の内容

岡崎本館での図書利用冊数は、約20万冊で1日平均712冊である。

これを図書の分類別にみると右のとおりである。

総記	3.0%	自然科学	13.1%	語学	5.9%
哲学・宗教	3.3%	工学	4.6%	文学	12.0%
歴史・地理	10.6%	産業	1.6%	児童	18.6%
社会科学	11.3%	芸術	4.2%	新聞・雑誌	11.8%

7 館外貸出冊数

(1) 団体貸出(地方6分館および貸出文庫)

地方6分館および貸出文庫において、各種団体に対し、長期貸出(期間1カ月)を行っている。本年度内の貸出冊数は、69,724冊である。

なお、これらの長期貸出図書は、1カ月の貸出期間中に、各冊平均3人の手を経て読まれるから、この分の本年度利用者総数は約210,000人と推定される。

(2) 個人貸出(中京分館)

中京分館では、利用者の便宜をはかり個人への館外貸出を実施している。毎月約650冊の貸出があり、本年度内貸出総数は7,764冊である。

8 読書相談

近代図書館の最も大切なサービスは読書相談である。このため本館は専任の職員を配置して、利用者のあらゆる質問に答えられる態勢をとっている。

質問の種類は1時間以上も調査を要する複雑なものもあれば、ごく簡単な数分で片づくものもある。館員の直接口答による回答とならんで、最近電話によるものや、郵便によるものが多くなってきた。利用者の範囲は、京都府内はもちろん、他府県からの質問も相当あり、最近では外国にある商社からの照会もあつた。読書相談業務が世間に周知されてきたた

めであろう。なお官公庁・会社・工場・報道機関・文化団体からの利用が盛んであるが、京都の特殊性として、郷土の産業——染織・図案・映画製作・電機・出版等のものが多い。

また特許庁発行の特許公報・実用新案公報・意匠公報・商標公報・審決公報の利用も読書相談室において取扱っている。

口頭電話	8,181件	郵便	158件	開室日数	265日
	2,413件	計	10,752件	1日平均	40.6件

9 児 童 室

少年少女のためにより読書環境をつくることはきわめて大切である。本年度の児童室利用者数は11,230名（男57.8%、女42.2%）で、図書館附近の小学校の児童が多い。

なお、利用児童が図書委員となつて児童室運営に協力している。

10 蔵 書 冊 数

昭和37年度末における当館の蔵書冊数は約29万2千冊となつた。その各館別の内訳は右のとおりである。

本年度内における受入図書数は17,807冊（購入 16,871、寄付 614、編入受入 322冊）、数量更正による減24冊と、使用頻度

本館	242,865 (冊)	峰山地方分館	5,658 (冊)
伏見分館	7,714	宮津地方分館	5,229
中京分館	6,410	綾部地方分館	5,053
上京分館	6,799	園部地方分館	4,423
		北桑地方分館	3,640
		木津地方分館	4,119
		合 計	291,910

が高いため使用不能になつたための払出、および亡失による払出図書数は1,341冊であつて16,442冊の純増となる。

11 分 館

(1) 伏 見 分 館 (昭和25年2月開設)

伏見地区は岡崎本館から約8kmはなれ、分館の必要性は高い。この分館は、はじめ他の建物の一部を借用して出発し、昭和29年快適な新館舎の落成を待つて移転再開した。敷地 859 平方メートル、閲覧室231平方メートル、座席120である。独立館舎をもつた初の本格的分館（コミュニティー・ランチ）、として、将来洛南地区文化センターの役割を果す日が期待される。

本年度の入館者数は、1日平均162名、1日最高444名であつた。

(2) 中 京 分 館 (昭和24年6月開設)

この分館は、当初、丸善京都支店の地下室を借用してきたが、丸善支店の都合により、一時閉館し、昭和32年6月に烏丸九太町下京府烏丸片舎の3階228平方メートルを利用して再開した。

中京分館は、新刊の小説・随筆・新聞・雑誌を中心に、完全開架制をとり、気軽な市民の読書室となることを目標としている。なおこの分館の所在地は、京都商工会議所に近く、商工業者の利用を促進する目的をもつて、商工業関係の図書・雑誌・パンフレット類の収集につとめている。

本年度の入館者数は1日平均99名で、一般人が学生よりもはるかに多く75%を占めている。

なお、利用者の便宜をはかり、個人への館外貸出を実施しており、毎月約650冊の貸出がある。

(3) 上 京 分 館 (昭和26年4月開設)

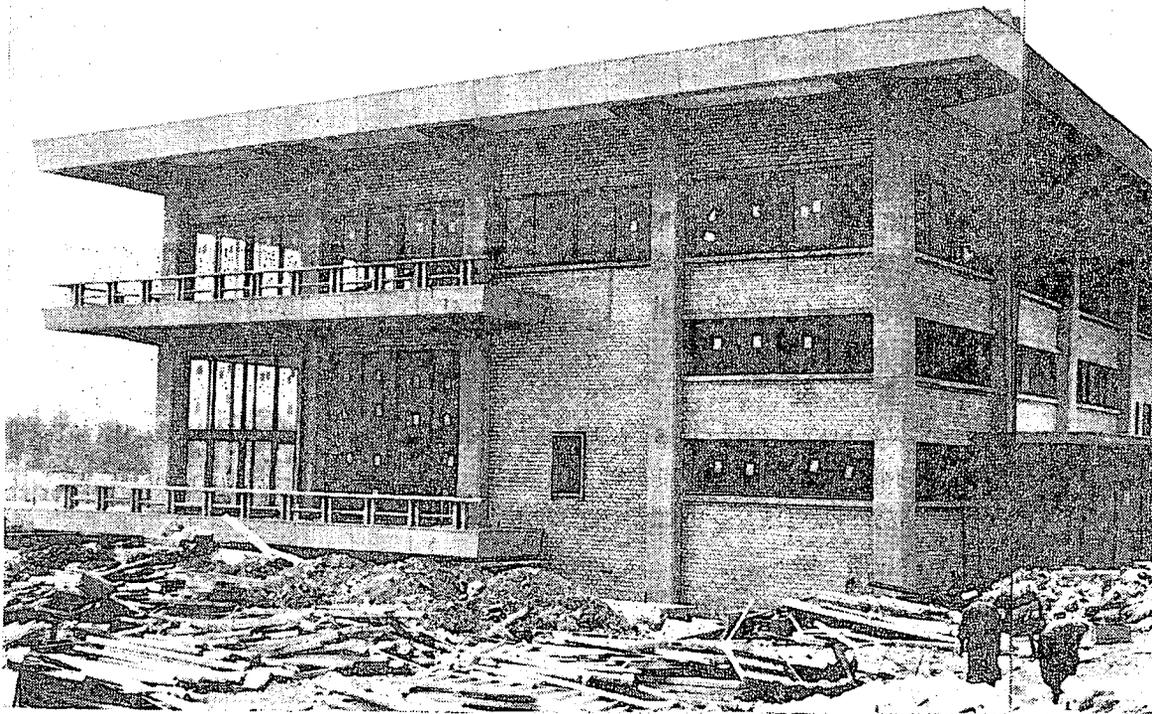
京都市の北部地区も岡崎本館から遠く、ここに昭和26年から上京分館が設置され活動してきた。

昭和31年4月、それまで分館のため借用していた紫郊会館から、現在の北区等持院の故木島桜谷西伯の元西室に移つた。ここは市電と郊外電車との交差点白梅町に近く、周囲は住宅地である。新館舎は約198平方メートルで、閲覧席約80を有し、広い庭を前に控えて明るく快適である。

本年度入館者数は1日平均121名、1日最高299名であつた。

(4) 地 方 分 館

昭和25年に、峰山・宮津・綾部の3館、次いで昭和27年に園部・北桑・木津の3館が開設され、現在の6館である。



これらの地方分館は地域内の公民館・婦人会・読書会などの団体に対して、30冊ないし50冊を1ヵ月で、団体貸出するものである。

なお、文部省の国庫補助を得て、「青年学級文庫」を購入し、地方6分館および本館貸出文庫に配置して、「青年学級」の読書活動を援助している。

12 貸出文庫

本館内にあり。主として京都市内および近郊の団体に対する貸出を行っている。本年度内における利用団体数77、利用冊数2,850冊であつた。

13 経 費

本年度諸経費は約5,132万円で内訳は右のとおりである。

なお、本年度末における館員数は、主事50名、主事補13名、事務員1名、労務員2名、計66名である。

館 名	利用団体数	利用冊数(冊)
峰山地方分館	603	13,295
宮津地方分館	737	10,630
綾部地方分館	192	10,637
園部地方分館	370	9,652
北桑地方分館	251	12,719
木津地方分館	346	9,941
合 計	2,499	66,874

費 目	金 額	比 較
人件費	27,952千円	54.4(%)
図書館資料費	11,590	23.1(%)
(図書費)	(10,703)	—
(定期刊行物)	(887)	—
その他の経費	11,778	22.5(%)
計	51,320千円	100.0(%)

京 都 府 立 図 書 館 所 在 地 一 覧

館 名	所 在 地	電 話	館 名	所 在 地	電 話
本 館	京都市左京区岡崎成勝寺町9	⑧0069 2450	宮津地方分館	宮津市鶴賀	宮津2350
伏見分館	京都市伏見区瀬戸物町746	⑧02548	綾部地方分館	綾部市並松町	綾部 13
中京分館	京都市中京区烏丸通丸太町下ル(京都府烏丸庁舎3階)	⑧0916	園部地方分館	船井郡園部町字小桜町	園部 250
上京分館	京都市北区等持院東町56	⑧9396	北桑地方分館	北桑田郡京北町字下中	弓削 40
峰山地方分館	中郡峰山町字丹波	峰山1364	木津地方分館	相楽郡木津町	山城 木津 101